

令和7年度 学力向上総合推進事業<高校地理歴史・公民>
 授業力向上推進プロジェクト 研究内容

歴史総合	【研究テーマ】 単元を貫く問いを軸として生徒の振り返りを促す授業実践
	【研究成果】 各授業の終末部で、生徒が単元を貫く問いと関係づけながら授業の問いに答え、振り返りを行うことで、単元を通じた学びの連続性を生み出す授業実践を行った。小単元ごとにワークシートを1枚作成し、また単元を貫く問いに基づいて各時間のMQ、SQを設定した。毎時間振り返りを記述することで、生徒がその都度単元を貫く問いに立ち返って思考を深めることができた。
地理総合	【研究テーマ】 「深い学び」を実現するグループワークの実践
	【研究成果】 活動内容・グループの人数や構成・時間配分などを工夫し、全ての生徒が学びを深めるグループワークを追究した授業実践である。本時の授業においては、複数の資料から様々な情報を読み取り、単元で学んだ学習内容を活用したうえで自分の言葉で表現することが求められており、生徒が地理的な見方・考え方をを用いて深い理解に導かれる仕掛けがされている。
世界史探究	【研究テーマ】 教科書「を」教える授業から 教科書「で」教える授業への転換
	【研究成果】 教科書内容を教える授業を脱却し、教科書を素材の一つとして提示し、生徒が様々な史資料を読み取り、考察する授業実践である。現在の社会状況を、歴史的な事象と比較しながら考察することにより、生徒が自分ごととして歴史を学ぶことができた。また、レポート作成に当たっては、ICTを活用した見取りを通じて、生徒の学習改善を実現している。
公共	【研究テーマ】 ルーブリックと生徒による相互評価を活用した学習改善の実践
	【研究成果】 ワークシートに組み込まれたルーブリックを活用して、生徒が自らの到達目標を設定して課題レポートを作成し、生徒同士での相互評価を経て、改めて課題レポートのリライトを行う実践である。生徒が自己評価・相互評価しやすいように、ルーブリックにも工夫を施した。生徒自身も評価に関わることで、生徒は自らの学びを客観視する視点を育み、学習意欲も向上した。